

令和 7 年度 参画と協働施策実施状況報告書											
通番	事務事業 名称	自治基本条例推進会議				所管部 署	課名 協働のまちづくり推進課				
(ア) 総合計画上の位置づけ											
施策	番号	施策名			展開 方向	番号	展開方向名				
	7-4	協働・連携によるまちづくりの推進				1	参画と協働のまちづくりの推進				
(イ) 実施内容・体制											
協働する相手		まちづくりに関心のある個人や団体									
協働実施手法		3-1 審議会、策定委員会等									
具 体的 な 協 働 者	有識者、まちづくりに関わる関係団体や個人、NPO法人などからなる広陵町自治基本条例推進会議の委員。						⑨ 母 数 の 協 働 者 の	17人			
期 待 成 果	自治基本条例及びまちづくり推進計画に基づく協働のまちづくりを推進するため、町民及び職員がまちづくりに関心を持ち、主体的に持続可能なまちづくりを町全体で推進することができる。										
事 業 内 容	まちづくり推進計画の策定、条例周知や条例に基づく点検評価のための会議体。										
(ウ) 事業費											
事業費(決算(見込)額・予算額)		単位	R	5	R	6	R	7	R	8	今後の事業費の方向性
		千円		276		273		744		744	維持
今後の方針		継続 拡大・縮小・廃止の理由 条例及び計画に基づき、まちづくりの意識啓発及び運用の検討をしていく。									
令和 7 年度 事業評価	参画・協働の原則に基づいた評価項目					行政の 自己評価		協働する相手の 自己評価			
5	4	3	2	1	目的共有	協働する相手と目的や意義を共有することができたか。					
と て も で き た そ れ な り に で き た ど ち ら で も な い あ ま り で き な か つ た					対等性	お互いに上下の関係ではなく、パートナーとして対等な関係を保つことができたか。					
					自主・自立	協働する相手との長所をいかし、相手の自主性を尊重することができたか。					
					相互理解	お互いの立場や特性を理解した上で、役割を明確にして取り組むことができたか。					
					情報公開・透明性	協働する事業の取り組みや成果について、それぞれが分かりやすく情報発信することができたか。					
					評価・見直し	事業の目標設定をするとともに、評価・検証(PDCAサイクル)を行ったか。					
					相互変革	協働事業を通じて「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」といった柔軟に対応する姿勢を持つことができたか。					
合 計											
総合評価		A評価 35~26	B評価 25~21	C評価 20~16	D評価 15~11	E評価 10以下					
					行政の意見		協働する相手の意見				
協働によって得られた効果											
協働することで感じた課題や今後の方向性											
(エ) 協働する相手の評価について											
評価方法(誰にどのよう)											